

やっかん通信



Vol.10

三世代が安心して暮らせる街づくり

日頃より後援会への御支援、御理解を頂き誠に有難う御座います。
今回は9月6日から9日の4日間に定例議会一般質問が開催され、
4項目9点の質問を行いました。

企業目線で市民のみなさんのパイプ役として働きながら
子育てしやすい環境を広げ、三世代が安心して暮らせる
街づくりの更なる推進をお願いしました。

これからも全力を尽くし精一杯頑張っ参りますのでどうぞ宜しくお願い致します。



・各式典行事参加!

<院内・よかろうパーク開き>



2016年7月10日に開園神事と開き式が行われました。最後に抽選があり私はハズレでしたがまさかの娘が1等(よかろうパーク泊無料券)をゲットし良い思い出になりました。



<宇佐神宮・神幸行列>



2016年7月宇佐神宮に於いて大祭御神幸祭が開催され初日にお下りでは神様を三基の神輿に載せて大鳥居から頓宮に向かい、お上りで頓宮から上宮までを練り歩きました。

<各お祭り>



・2016年7月 今年も七夕祭り、港祭り、夏越し祭りと毎週のように娘と参加しました。お祭りは子供の頃から大好きですがもう何年かしたら娘も付いて来てくれなくなると少し寂しい気がします。



・「市民相談」解決報告!



改善前



改善後

2016年7月CKKと九州フセラシ間の市道に於いてカーブミラーが見にくいと相談がありました。地権者の方も御高齢の為すぐには対応できないだろうと思い、昨年同様バツサリと私が剪定しました。後2年位は切らなくて大丈夫かなあ!



< 9月一般質問概要 >

宇佐に無い小中学校のエアコン！！

(隣接している豊後高田市は 100%の設置率、中津市はこの夏の設置を実施)

I・小中学校の熱中症対策について

① 本年度、小中学校の熱中症患者数とその対策は？

<答弁> 学校活動中に診断された児童数は 4 人であり教室内で扇風機の使用や校舎出入り口でミストファンを使用し、児童生徒の体温調節を補助している。

② 子ども達が「いつになったらエアコンが付くの?」と言う声が多いがエアコンの設置予定はいつか？

<答弁> 平成 28 年度から 30 年度までの 3 年間で全小中学校に「学校施設環境改善交付金」を活用し整備を図る計画となっており本年度当初の国の内示では耐震化事業や過年度に交付決定した事業の継続事業等が採択され、全国的にエアコン事業は不採択され先送りされた。本年度の国の補正等の要求に改めて国に対し予算要求し、採択されれば実施する方向で考えている

<再質問>

根本的な原因として汗をかかない子供が増えてきています。その理由として能動汗腺の数は体温調節機能に大きく関わり、汗をかく機会が減った子供たちの汗腺は発達できず、汗をかかない体質へと育ってしまうのです。

大人が我慢出来ても子供達の体は対応出来ていないのです。

又、隣接している豊後高田市は 100%の設置率、中津市はこの夏の設置を実施。宇佐に無いと言う事は市民から遅れているとか力を入れていないとか言う意見があるがどう思うか？

<答弁> 豊後高田市中津市についてはエアコン環境が進んでいる。それに付いては耐震化の分が先に豊後高田市中津市については完了していたという環境もありまして早めにエアコンの方に移れたという部分もあるかと思う。市としましても出来るだけ早く子供たちにエアコン付いた集中できる環境ですね勉強等学校生活が過ごせるよう強く国に要求して出来るだけ早い実現を要望していく

<最後に> 今回、多くの議員が取り上げ深刻な内容であり、子どもたちの切なる願いだと思っています。次世代になう子ども達に快適な教育環境を提供出来る様、又命を守る為に是非 29 年度に設置される様要望します。

9月9日救急の日に救マーク制度導入を質問！！

II・救マーク導入について

① 宇佐市に於いて普通救命講習以上の修了者は何名いるか？

<答弁> 普通救命講習は 4392 名の方が終了しており、上級救命講習は 96 名の方が終了している。

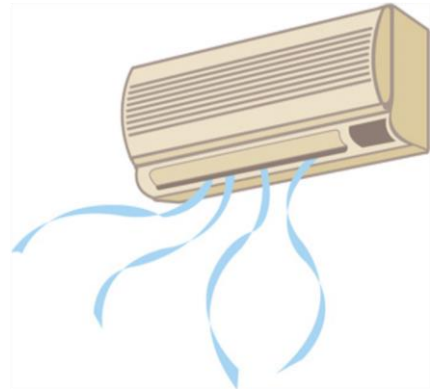
② 「救マーク」で施設認定し、応急手当の普及啓発の推進や安心・安全をアピールしてはどうか？

<答弁> 応急手当を普及啓発させ施設の従業員等に応急手当の担い手としての自覚を促す事は市民の安心・安全につながる事と考え、市消防本部も導入に向け調査研究を行う。

救マーク制度とは・・・。

AED（電気ショック）を設置し、突然の病気・ケガに対して「迅速な対応」及び「適切な応急手当」ができるスタッフが（営業時間中に限る）常駐する事を表示したマークです。

大分市、別府市、中津市等行政毎の取り組みであり積極的に応急手当の普及啓発の推進に取り組み「安全で安心して暮せる街」としてのイメージアップを図るため「救マーク」制度を実施しています



Ⅲ・公用車の低燃費車導入について

① 公用車(大型車等を除く)の一台当たりの年間燃料代はいくらか?

<答弁>市の集中管理している公用車は30台。平均燃料代は約11万3千円/年間。平均走行距離は16kmとなっている。

② EV、PHVなどのハイブリッド車やバイフューエル車の導入で経費削減に繋がらないか?

<答弁>第二次宇佐市総合計画前期基本計画の中でその主要施策「低炭素社会の実現」を計画しており現在、EV車(電気自動車)1台、HV車8台、バイオディーゼル燃料利用車を保有しておりCO₂の発生を抑え経費削減に努めている。

<再質問>エコな宇佐をもっと宣伝する為環境にやさしい電気自動車(EV)を増せませんか?

<答弁>導入の必要性は大変有ると考えられるがEVの性能向上を見ながら考えたい

③ 災害発生時など緊急時の住宅用電源としても用途が広がるが検討できないか?

<答弁>EV車を災害発生時の住宅用電源としては考えていないが先進事例や他市の状況等を含めて調査研究していく。

<最後に>

地産地消の考えで言うと車の産地は車の部品を作っている場所、集結して製造しているのがこの県北地域となりダイハツ、日産系列が大変多くの雇用を生んでいます。ダイハツ、日産車が売れば文字どおりの「地産地消」となり結果として地元で働くみなさんの賃金増加となります。是非公用車導入に当たっては軽はダイハツ、普通車は日産で御検討をお願いします。



Ⅳ・まち・ひと・しごと創生総合戦略の情報発信について

① 各政策事業の情報を市民にどう発信していくのか?

<答弁>まちづくり懇話会を開催、地域の方々に報告しまち・ひと・しごと創生総合戦略ダイジェスト版によって周知を行い、市広報紙やHP等を通じて幅広く情報発信していく。



道の駅「ゆふいん」道路情報のコーナーの掲示

② 市役所内の壁や道の駅などで活動板を作り掲示(見える化)してみてもどうか?

<答弁>市内外の方にどの様に情報発信し、移住定住に結びつけられるかなど、他市の例を参考にしながら調査研究してまいります。

右の写真は道の駅「ゆふいん」道路情報コーナーにおいて道路整備による生産性革命と題し、色々な事業計画の紹介があり上段には整備事業の写真、中段にはインフラや地域の現在と将来の姿が解りやすく表記され下段にはポイントとなるコメントが記載されており事業内容が一目で解りやすくなっている。市民が興味を引くような、又伝達ツールを増やし市内や市外から来たお客さんにもアピールしてはどうでしょうか。

※一般質問の答弁及び詳細はYouTubeをご覧ください。

YouTube で見て下さい!!

☆スマホ版

宇佐市議会

検索 1

2. その他まで下げる

3. 宇佐市議会インターネット中継をタッチ

4. 宇佐市議会インターネット中継をタッチ

5. 再生時間(1:53:22)をタッチ



< 宇佐市平成 28 年度 9 月第 3 回定例会 >

「平成 28 年度宇佐市一般会計予算(第 3 号)」の紹介します。今回の補正予算案は TPP 対策に関連した農業の高収益化支援事業のほか、移住定住関連事業の補助枠拡大や観光復興追加対策事業など「産業・地域振興関連事業」をはじめ、予防接種事業の拡充や広域ごみ処理施設建設の用地購入費等に係る負担金など「生活の安心安全確保対策」に必要な政策経費を計上。その他は議会報を御覧下さい。

「産業・地域振興関連事業」

- ・ 農業の国際競争力強化のため機械・設備導入補助する産地パワーアップ事業 94,500 千円
- ・ 空き家改修補助及び家族支え合い住宅建設奨励金事業の補助枠拡大 18,500 千円
- ・ 観光復興追加対策事業 10,000 千円 ・ 農道維持管理費 30,000 千円

「生活の安心安全確保対策」

- ・ 宇佐・高田・国東広域ごみ処理施設建設に係る用地購入費及び進入路改良等の負担金 21,293 千円
- ・ 臨時地方道整備事業など生活道路関連事業 30,000 千円
- ・ 都市計画道路 上田四日市線整備事業が国交付金の増額内示により 20,000 千円

「災害復旧対策」

- ・ 公共土木施設災害復旧事業 16,932 千円 農地・農業用施設災害旧事業 11,045 千円

「教育振興対策」

- ・ 大規模災害時における児童生徒の安全確保及び避難所機能の確保のため小中学校施設の非構造部材耐震補強事業 7,950 千円
- ・ 宇佐航空隊跡の遺構めぐり拠点施設整備事業で正門復元プロジェクト 17,089 千円

意見書

・ 意見書案第 2 号

地方財政の充実・強化を求める意見書 **可決**

「犯罪被害者等基本条例制定に向けて」

大分合同新聞で掲載され一度は目にした方もいると思いますが私は 8 月終わり頃、「ピアサポート大分絆の会」会長である国東市の佐藤悦子さんより是非、宇佐市議会で請願を提出して貰えないだろうかと御相談を受けました。資料を頂き会派で第一回勉強を実施し、諸先輩方より「請願を出すだけになってしまわない様に」とアドバイスを頂き、更なる勉強会、条例制定を視野に置いて検討中で有ります。犯罪被害者になると精神的苦痛や生活面での大きな変化が迫って来ます。そういった状況を少しでも和らげる事が宇佐市に於いても出来るはずで。犯罪被害者遺族の方々のお力になれます様全力を尽くして参ります。(9 月大分県議会福祉保健生活環境委員会にて全会一致で「採択すべき」と判断される。)

< 新たな委員会を担当する事になりました >

頑張ります!!

- ・ 決算特別委員会委員長 (初委員長です。)
- ・ 新庁舎建設に関する調査特別委員



平成 28 年 9 月第 3 回宇佐市議会
定例議会最終日その 4 (32:59)

